

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 令和2 年度

市町村名	入間市			
提案事業名	旧石川組西洋館館庭魅力アップ事業			
事業期間	令和2 年度	～	令和2 年度	
事業の必要性、目的	旧石川組製系西洋館は建物は国登録有形文化財になっており、平成30年度から一般公開などの活用を開始しているが、庭については道路拡張などで解体された門や燈籠がそのまま置いてあり、美観を損ねている現状がある。また、借地の来館者駐車場は区画整理事業の進捗に伴い返却しなければならない。そのため、歴史的価値のある門や燈籠を再建し、柵や植栽などで美観を整え、庭の見どころを増やす。敷地内に駐車場を整備することで利便性を高める。その価値について直接ガイドをして伝えることで、西洋館来館者の満足度を高める。			
成果指標	(成果を検証する指標) 西洋館入館者数			
	(成果検証の具体的な方法) 西洋館入館者の数を計る			
	(上記の指標を設定した理由) 門や燈籠の再建、駐車場の整備などによって館庭を含む西洋館全体の魅力や利便性が増したという成果を検証するため			
	(成果の目標値)			
	現状値 (令和元年12月現在)	令和元年度目標 4,500人	目標値 (令和4年3月時点)	令和3年度 5,000人
	(施設建設等の場合)			
	年間利用者数(目標)(人)		稼働率(目標)(%)	
住民への公表方法及び特記事項	市報、ホームページ、SNS、特設ホームページ「いるま歴史ガイド」でお知らせする。			

【成果指標と構成事業の関連性】

令和2年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① 西洋館館庭整備事業	ハード 解体されている門や燈籠を再建し、館庭の見どころを増やすことができるため、庭に関するイベントを開くことができるようになる。	7,300
② 西洋館館庭の見どころガイドツアー事業	ソフト 館庭整備事業によってできた庭の見どころを案内するガイドツアーを開催することで入館者の満足度が上がり、リピーターを期待できる。	30
③ 西洋館「幻の茶室」講座事業	ソフト 館庭整備事業によってできた庭の見どころや歴史をじっくりと解説する講座を開催することで、西洋館の理解が深まり、リピーターを期待できる。	0
④	ハード ソフト 間接補	
⑤	ハード ソフト 間接補	
⑥	ハード ソフト 間接補	
合計		7,330

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	西洋館の庭が整備されたということを市報やホームページ、Facebookなどで広くお知らせし、所沢記者クラブにも情報を出す。庭を紹介するガイドツアー参加者を広く募集する。
成果指標の達成見込み	西洋館館庭の魅力と利便性の向上により、西洋館全体の入館者数が増え、達成が見込まれる。